

めぐみ保育園 自己評価表

令和 7 年度

項目	番号	評価内容	評価結果	意見・対応
運営管理	1	保育理念・基本方針を職員や保護者などに周知するために見やすい場所に掲示している	(A) B C D E	・保育園のパンフレットを配布 ・ホームページでの閲覧が可能 ・毎月定例職員会議を行い、各クラスの状況を共有している ・職員全体で連絡体制を整備し、実施している
	2	定期的な職員会議等を通して職員の資質向上、業務効率化や改善等に努めている	(A) B C D E	
	3	園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある	(A) B C D E	
守秘義務	1	園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	(A) B C D E	・管理場所を設定し、管理保管をしている ・職員会議で職員に周知し、守秘義務の徹底を図っている。 ・職員は誓約書を書いている
	2	園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	(A) B C D E	
安全・危機管理	1	事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることができる	(A) B C D E	・事務室で管理し、職員がすぐ見られるようにしている ・年に1回不審者避難訓練を行っている ・緊急時の際の医療機関用の連絡先を明記している ・施設設備・遊具など定期的に保守点検をしている
	2	外部からの侵入者に対し対応策がなされ訓練が行われている	(A) B C D E	
	3	緊急時のために医療機関等の連絡先等が明示されている	(A) B C D E	
	4	園内の施設設備・遊具等の安全点検は定期的実施している	(A) B C D E	
保育環境	1	保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切に心地よい環境で保育ができるように努めている	(A) B C D E	・保育環境は常に清潔を保持し、季節を感じられるようにしている ・採光を十分に泥や水でたっぷり遊べる環境や、思い切り遊び回れる環境を整備している ・園庭などで季節の花や野菜を育て観察・鑑賞ができるようにしている
	2	室内の温度、湿度、換気、照度等は園児の活動に合わせて配慮している	(A) B C D E	
	3	季節の草花等を飾り、保育の中で園児が季節感を感じるような配慮を行っている	(A) B C D E	
	4	屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている	(A) B C D E	
健康管理・衛生	1	園児の健康診断は定期的実施され、その結果は職員や保護者に伝達され保育に反映させている	(A) B C D E	・内科と歯科検診をそれぞれ年2回実施し、結果は保護者に伝え保育に反映している ・園児の健康状態を把握し、体調を見ながら保育に取り組む ・玩具、遊具は衛生的に管理し、劣化したものは早めに処分する ・マニュアルを整備し、感染症の予防にも取り組んでいる。
	2	日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	(A) B C D E	
	3	玩具、遊具等については常に衛生的に保持している	(A) B C D E	
	4	SIDS（乳児突然死症候群）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	(A) B C D E	
保育内容	1	全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している	(A) B C D E	・健康な身体づくり、意欲のある子どもに育てることを大事にした保育に取り組む ・各年齢の発達をしっかりとらえ、日々いきいきと生活できるように心掛ける ・生活、あそび、友だちとの関わりを大切に皆が育ち合う保育を行う ・保護者との情報交換は、送迎時の他、必要に応じて個人面談を行う ・園庭での外遊びや、散歩を通して季節の移り変わりを身近に感じることができる保育を心掛ける ・遊びを通してお友だちとの関係性を学び、思いやりの気持ちが育つように保育者も関わる
	2	園児に分かりやすい温かな言葉遣いで穏やかに話している	(A) B C D E	
	3	基本的生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している	(A) B C D E	
	4	園児の発達に応じた玩具や遊具を質・量ともに適切に用意している	(A) B C D E	
	5	身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む配慮をしている	(A) B C D E	
	6	園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身につける配慮をしている	(A) B C D E	

食育	1	旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	(A) B C D E	・旬のものや、佐賀県産の食材を取り入れ地産地消に貢献する ・献立作成では、園児の栄養面を重視し、偏りがないよう気を付けている ・野菜を育てたり、クッキングをすることで食への関心が持てるようにしている ・アレルギーの子に対しては保護者と密に連絡を取り対応している
	2	園児の発達に応じ食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で和やかに楽しく食事ができる環境がある	(A) B C D E	
	3	毎月の献立は保護者に示され、毎日の食事の状況を保護者に知らせている	(A) B C D E	
	4	食物アレルギーのある園児は、栄養士と職員で密に連絡を取り除去食等で対応している	(A) B C D E	
子育て支援・地域交流	1	園児の送迎時に園児の様子を保護者に伝えている	(A) B C D E	・送迎時に保護者と情報交換を行い、園児の様子や健康状態を伝えている ・職員会議で家庭環境の様子など気になることは共有し合う ・保育参観やおたよりなどで子どもの様子など知ってもらう ・実習生の受け入れ態勢はあるので問い合わせがあれば受け入れている
	2	虐待防止について定期的に学習を行い、虐待の早期発見に努めている	(A) B C D E	
	3	保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	(A) B C D E	
	4	中高生の職場体験や実習生の受け入れ体制について、その意義や方針を全職員が理解している	(A) B C D E	

評価基準

- A...理想的な状態、達成できている状態 100%
 B...達成間近、取り組みなどを頑張っている状態 80～90%
 C...通常普通に行われている状態 70～80%
 D...頑張って取り組まなければいけない状態 40～50%
 E...ほとんど達成できていない状態 30%以下

◎総合評価

令和7年度は認定こども園への移行もあり、1号認定児の受け入れもあった。

保育所型認定こども園であるため、保育園自体は特に変更もなく、運営できた。保護者への説明も問い合わせがあれば、その都度行い、1号への変更もスムーズだった。

保育士の個々の自己評価は、前年よりも評価が上がるように取り組みながら、各クラス内で連携を取り保育を行うことができていたと感じた。

職員会議では、クラスの様子を伝え情報共有が密にできるよう心掛けた。